

サイクル&ライドとは

郊外や都心周辺部の鉄道駅、バス停周辺などに駐輪場を整備し、公共交通との結節性を向上させることで、自家用車から公共交通への転換を図る仕組み



令和5年度の検討状況

- 優先検討方面のうち「**小峯・長嶺方面**」を対象に、乗換拠点である小峯営業所周辺、長嶺地区周辺で候補地を検討
- 居住人口やバス便数、乗降客数等のデータに加え、バス停周辺での活用可能な公有地の有無を踏まえ、候補地を絞り込み



▲小峯・長嶺方面のサイクル&ライド候補地



▲小峯営業所バス停



▲長嶺小学校前バス停



▲長嶺団地バス停

サイクル&ライド駐輪場整備方針(案)

- 人流データ(携帯電話のGPSデータ)、他事業でのアンケート結果を活用し、各候補地に必要な収容台数を算定

算出方法

{

バス停1km圏内に居住し中心市街地へ自動車で移動する人(人流データ)
 ×公共交通の転換意向(アンケート結果)
 ×公共交通へのアクセスで自転車を使う人の割合(人流データ)
- 居住人口やバス運行本数、施工性の視点で候補地を評価し、優先順位を設定

◆収容台数の算定結果

	小峯営業所	長嶺小学校前・長嶺団地
収容台数	120台程度	270台程度

◆候補地の評価結果

	小峯営業所	長嶺小学校前・長嶺団地
居住人口	約9,800人 (バス停1km圏)	約8,800人 (バス停1km圏)
バス運行本数 (日当たり平均)	約230本	約100本(長嶺小学校前) 約270本(長嶺団地)
施工性	○ 用地調整が比較的容易	△ バス降車・待機に支障するため、 用地調整が困難

<整備方針(案)>

- ✓ 施工性を踏まえ、**小峯営業所**を先行してサイクル&ライド駐輪場を整備(今年度詳細設計を実施)
- ✓ **長嶺小学校前・長嶺団地**は、小峯営業所の整備効果を踏まえ、サイクル&ライド駐輪場の整備に着手